JSMA規格：正誤票

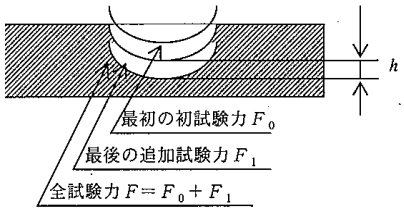
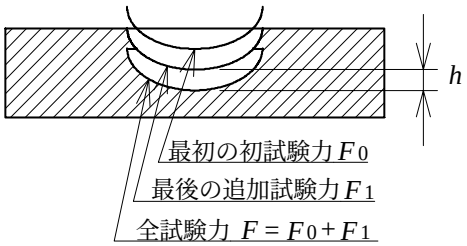
JSMA SC007:2002　薄板ばね硬さ測定基準

区分 (まえがき、本体、解説、など)	位置 (箇条、図、表、式、などの番号・記号)	誤	正
本体　2頁	**表2　硬度計選定の目安** “板厚”列の1行目	1-	0.1-
本体　2頁	**表2　硬度計選定の目安** “板厚”列の10行目	0-	1.0-
本体　2頁	**表2　硬度計選定の目安** “板厚”列の11行目	1-	1.1-
本体　2頁	**表2　硬度計選定の目安** “測定物の硬さの範囲”の“HV400～500(HRC 40.8～49.1)”列の1番目の欄	HV (9.807N)以下	HV 1 以下
本体　2頁	**表2　硬度計選定の目安** “測定物の硬さの範囲”の“HV500～600(HRC 49.1～55.2)”列の1番目の欄	HV (9.807N)以下	HV 1 以下
本体　3頁	**表2　ビッカース硬さ試験** 表の番号	**表2　ビッカース硬さ試験**	**表3　ビッカース硬さ試験**
本体　3頁	**表2　ビッカース硬さ試験** “試験条件”列の3番目の欄	･･･ (0.9403), ･･･	･･･ (0.4903), ･･･
本体　4頁	4.2.3　a) 1行目	a)　硬さ記号と試験力ビッカース硬さを表すHVに続けて, 試験力に比例する数値を付加した記号 (注1) なお, ･･･	a)　硬さ記号　　ビッカース硬さを表すHVに続けて, 試験力に比例する数値を付加した記号。なお, ･･･
本体　4頁	4.2.3　a) 2行目から3行目	･･･による。(注1) 硬さ記号内の数次は (2) の$k \times F$の値を有効数字1ケタ又は整数に丸めた値とする。	･･･による。(改行する) (注1) 硬さ記号内の数値は4.2.2の$k \times F$の値を有効数字1ケタ又は整数に丸めた値とする。
本体　4頁	4.2.3　a) 4行目	試験力は, 表1による。ただし表1以外の試験力でもよい。	全文削除
本体　4頁	**表1　硬さ記号と試験力との対応** 表の番号	**表1　硬さ記号と試験力との対応**	**表4　硬さ記号と試験力との対応**
本体　4頁	**表1　硬さ記号と試験力との対応** “硬さ記号”のHV 0.10の欄	HV 0.10	HV 0.1
本体　4頁	**表1　硬さ記号と試験力との対応** “硬さ記号”のHV 0.20の欄	HV 0.20	HV 0.2
本体　4頁	**表1　硬さ記号と試験力との対応** “硬さ記号”のHV 0.30の欄	HV 0.30	HV 0.3
本体　4頁	**表1　硬さ記号と試験力との対応** “硬さ記号”のHV 0.50の欄	HV 0.50	HV 0.5
本体　4頁	4.2.3　e) 1行目	試験面は原則として平面でなければならない球面や円筒面の･･･	試験面は原則として平面でなければならない。球面や円筒面の･･･

(次頁に続く)

JSMA規格：正誤票 (続き)

JSMA SC007:2002　　薄板ばね硬さ測定基準

区分 (まえがき、本体、解説、など)	位置 (箇条、図、表、式、などの番号・記号)	誤	正
本体　5頁	4.2.3　i) 1行目	･･･中心から試料までの･･･	･･･中心から縁までの･･･
本体　5頁	**表3 くぼみの位置** 表の番号	**表3 くぼみの位置**	**表5 くぼみの位置**
本体　5頁	**表5** 表の番号	**表5　ロックウェル硬さ及びロックウェルスーパーフィシャル硬さ**	**表6　ロックウェル硬さ及びロックウェルスーパーフィシャル硬さ**
本体　5頁	**表5** “項目”列の7番目の欄	試験湿度	試験温度
本体　5頁	**表5** “備考”列の7番目の欄	･･･ 湿度管理　･･･	･･･ 温度管理　･･･
本体　6頁	**図2** 矢印の先端の位置	誤  正 	
本体　6頁	5.3　f) 3行目	･･･指定された位置とするダイヤルゲージ式の･･･	･･･指定された位置とする。ダイヤルゲージ式の･･･
本体　6頁	5.3　i) 2行目	･･･少数第1位を･･･	･･･少数点以下第1位を･･･
解説　7頁	1.1 3行目	･･･, 標準化委員のなかに･･･	･･･, 標準化会議のなかに･･･
解説　7頁	1.2 2行目	･･･硬さ試験機について･･･	･･･硬さ測定方法について･･･

作成：2011年9月15日